

愛知県半田市観光ガイド 公式パンフレット

いいかも 半田

発酵と醸造の
歴史文化をめぐる旅



Handa
akarenga



dashi no machi



ii kamo!
Handa



いいかも半田 愛知県半田市観光ガイド 公式パンフレット
令和7年3月発行 発行／半田市 企画・編集／半田市観光協会
※内容は全て令和7年1月時点のものです。掲載情報は変更になる場合があります。
半田市観光協会 handa-kankou.com
愛知県半田市東洋町1-8 アイプラザ半田 TEL 0569-32-3264 (9:00~17:00)



kamezaki

発酵と醸造の歴史が醸す、新たな文化とにぎわいのまち

漆黒の蔵が建ち並ぶ運河に、吹きわたる心地よい風。

半田運河に流れるのは、江戸時代からつづく発酵と醸造のものがたり。さまざまな醸造品をここから江戸へと送りだしていました。

なかでも江戸の握りずしブームをつくった「柏酢」は、このまちで生まれた、知恵と工夫のしづく。

当時のゆたかさが生み出した、祭礼の豪華な山車もこのまちの自慢です。そんな半田市はいま、「発酵と醸造のまち」として

新たな風が行き交う半田を、味わいめぐってみませんか。

「いいかも! 半田」を合言葉に、新しい魅力が次々と生まれるまち、半田市。醸造蔵の木桶がモチーフのロゴは、まちの歴史と文化から醸したされる半田の魅力を表現しています。



まずはここから。半田観光の玄関口！

半田赤レンガエリア akarenga

ページ掲載情報を
さらに詳しく紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶半田赤レンガエリア



レトロな広告塔が目印！

いいかもポイント
ii kamo! Handa

明治時代に建てられたレンガ建造物としては日本屈指の規模。ビール工場の遺構は、現存数が極めて少ない。

国登録有形文化財・近代化産業遺産 半田赤レンガ建物（旧カブトビール工場）

ほんたあかれんがたもの（きゅうかぶとびーるこうじょう）

明治時代に本格ドイツビールの製造工場として建てられた半田赤レンガ建物。歴史的価値の高い美しい建築物は半田を象徴する観光スポットのひとつ。「カブトビール」の歴史を模型・映像・写真で紹介する常設展示のほか、復刻ビールなどの飲食ができるカフェや半田土産の揃うショップを楽しめる。ハーフティンバー様式の壁面やレンガ造りのレトロな空間は、どこを切り取っても絵になりフォトスポットとしても人気。



かつて名古屋駅前に建っていたカブトビール廣告塔を実寸大で再現。

いいかも！半田
半田の歴史ロマン！
復刻カブトビールを味わう

いいかも！半田
半田の味わいを楽しめる
復刻したカブトビール

当時の味わいを楽しめる
復刻したカブトビール

昭和18年に生産終了し、幻となっていた
カブトビール。文献を基にレシピの再現が
進められ、平成17年、ついにカブトビールが
復刻。現在は当時の味わいを楽しめるよう
になりました。歴史ロマンに思いを馳せながら
半田醸造のビールを味わってみませんか。



総本家田中屋

そうほんけたなや

モチモチ食感とはかな甘みが特長の
銘菓「生せんべい」。かつて徳川家康が
当地に立ち寄った際に食べたという
伝承もあり、半田では学校給食にも
登場するソウルフード。黒糖・白・抹茶・
ゆずの4種類の味わい。



住吉神社

すみよしじんじゃ

山車とともに舟を合わせた「ちんとろ祭」
(P12)が行なわれる上半田地区の氏神様。
授与所にはユーモラスな表情の絵馬
や御神札絵(おふだえ)、お守りが並ぶ。

絵馬(左)と、「ちんとろ舟」のデザインが
かわいい交通安全お守り(右)。

半田赤レンガエリア akarenga

ページ掲載情報を
さらに詳しく紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶半田赤レンガエリア



市内全10地区で合計31軒
の山車を所有し、祭り文化を
守り継ぐ半田市。その多さと
豪華さは全国的にも希少。

Hi kamo!
Handa

半田が誇る発酵と醸造の歴史文化

江戸時代、醸造と海運で活気あふれた港まちは
いま、半田の誇る発酵と醸造の歴史文化を
世界へ向け情報発信する湊まちへ。

半田運河エリア

ページ掲載情報を
さらに詳しく紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶半田運河エリア



江戸へ粕酢を運んでいた「弁才船(べざいせん)」
に乗船し、大きさを体感できる。



青空を穏やかな水面に映す半田運河。時を経た歴史ある景観はカメラに収まりきらない美しさ。潮の満ち引きにより生まれる様々な表情も魅力のひとつ。



半田運河

はんだうなが

醸造業と海運業で栄えた半田発展の中心となった港。建ち並ぶ蔵から小舟で荷を運び出していく船へと積み込み江戸まで運んだ。現在は、かつての面影を残した広々とした景観の運河散策や、発酵と醸造の歴史文化を楽しめる観光スポットに。市民に愛される憩いの場でもあり、活用事例として評価され平成29年「都市景観大賞」を受賞。

半田
運河

HANDA CANAL



handa unga

いいかもポイント
← Handa / Handa

粕酢発祥の半田から
江戸へ、全国へ、世界へ!

いいかもポイント
← Handa / Handa



リトリートキッチン

りとりーときっちゃん

ミツカンミュージアムの正面玄関前に
ちょこんと建つスムージー＆フードスタンド。粕酢を使ったビネガージュース
は半田ならではの味わい。テイクアウト
できるカラダに優しいメニューが並ぶ。



ミツカンミュージアム限定販売
の粕酢「千夜」(P14)と濃厚
マンゴーがベストマッチ。

MIZKAN MUSEUM (MIM)

みつかんみゅーじあむ(みむ)

ミツカングループの本社に隣接する、お酢の体験型博物館。ミツカングループの軌跡を辿りながら、醸造技術の歴史や食文化の魅力を見てさわって楽しく学べる。ミュージアム限定品もお土産におすすめ。(P14-16)

「味ぽんスタジオ」でつくるオリジナルマイ味ぽん。
季節の柄もあり旅の記念にピッタリ。



半田市鉄道資料館

はんだしてつどうしうかん

「JR武豊線」は日本の鉄道黎明期に開通した路線のひとつで、その貴重な歴史資料を収蔵する資料館。「C11265蒸気機関車(SL)」の静態保存も鉄道ファン必見!



対岸から眺めた切妻屋根が3つ連なる
特徴的な蔵。利き酒コーナーも楽しい!



國盛 酒の文化館

くにざかり さけのぶんかかん

「中埜酒造(なかのしゅぞう)」のお酒の博物館。実際に約200年にわたり酒造りを行ってきた酒蔵で、館内は当時の面影を感じることができる。酒造りの解説や展示などで半田の醸造の歴史を学べる。

代表銘柄「國盛」ほか、中埜酒造製品が買える蔵元直営所も。



約千個の風鈴の涼やかな音色!



半六庭園は自由に散策ができる、夏には「半六庭園の風鈴飾り」、秋には「半六庭園のランプ飾り」など、季節ごとに楽しめる。敷地の南西には舟の板を使った「舟板塀」が残る。



国登録有形文化財 旧中埜半六邸

きゅうなかのはんろくてい

半六庭園

はんろくていえん

尾州半田の繁栄を牽引した豪商・中埜半六家の旧邸宅。回遊式の日本庭園、母屋、炊事場(七連かまど)、3つの蔵が現存している。庭園は一般開放され、母屋2階は貸室として、イベントや撮影などに利用。



HANROK

はんろく

有形文化財の邸宅内でコース料理が楽しめる本格フレンチ。愛知県・知多半島産の厳選食材で発酵・醸造を利用し、食と文化の繋がりを感じられる革新的なメニューが堪能できる。



人々とした景観を楽しみながら運河沿いの遊歩道を散策!

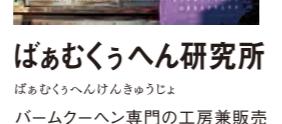
端午の節句の時期には、50匹以上の鯉のぼりが春の空を彩る。



夏開催の「キャナルナイト」は、運河の水面に参加者がヒカリノエを浮かべる幻想的な光のアートイベント。



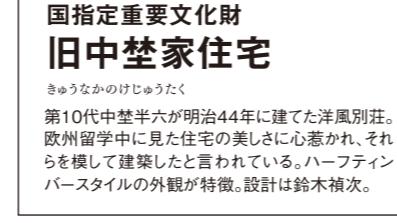
★いいかも半田クイズ★ Q2 江戸時代、半田から江戸に運ばれていた酢の原材料は? A 米 B 果実 C 耕物 D 麦 E 酒粕 / こだわってP17へ



ばあむくうへん研究所

ばあむくうへんけいきゅうじょ

バームクーヘン専門の工房兼販売所。季節ごとに限定商品が登場し、発酵調味料を使った個性的なフレーバーも人気。



国指定重要文化財 旧中埜家住宅

きゅうなかのけいじゅうたく

第10代中埜半六が明治44年に建てた洋風別荘。欧州留学中に見た住宅の美しさに心惹かれ、それを模して建築したと言われている。ハーフティンバースタイルの外観が特徴。設計は鈴木頼次。

大歓声に包まれて
31輌の山車が一堂に集結! //

はんだ山車まつり

はんだしまつり



醸造・海運などで築いた富から
豪華な山車が誕生!

江戸時代からの酒・酢をはじめとする醸造や海運などによる経済力が半田の祭り文化の隆盛を支えました。精緻な彫刻や豪華な刺繡幕、からくり人形の妙技は動く芸術品と称されています。市内に山車を31輌も所有するのは全国的にも稀少で、山車組それぞれが「うちが一番!」と誇る、市民自慢の祭り文化です。

5年に一度、半田市内10地区31輌の山車が一堂に集結する知多半島最大のイベントまつり。横一線に整列した山車の情景は圧巻。山車の曳き廻しやからくり人形の披露、宵祭りでの山車の提灯飾り、半田運河のちんとろ舟と子供三番叟の舞、獅子舞など、半田の祭り文化を一挙に堪能することができる。

次回開催予定

2027年 10月



山車まつりの見どころ深掘り3選!

勇壮な山車の曳き廻しのほかにも魅力いっぱいの山車まつり。深掘りした「ツウ」な見どころ3つをご紹介します。

伝統芸能

市内には、様々な形態の獅子舞や神子舞、子供三番叟の舞など伝統芸能が祭礼で奉納されています。子供たちが演じるものが多く、懸命な姿をお楽しみください! 「大獅子小獅子の舞」(上)、「ちんとろ祭の三番叟」(下)。



彫刻(彫もん)

亀崎中切組力神車の檜箱彫刻「力神」をはじめ、山車に飾られる木彫り彫刻は、各時代の名匠の手による傑作揃い。ぜひ各山車自慢の「彫もん」を見比べてください。



からくり人形

人形の煌びやかな衣装、豊かな動き、場面転換、そしてあと驚くからくり仕掛けを見る人を魅了します。亀崎中切組神楽車の「傀儡師(かいりし)」は江戸中期の竹田からくりの流れを汲む「生きた化石」と云われています。



山車のまち半田

悠久なる歴史と伝統! 熱気みなぎる祭り文化

ii kamo!

planda

dashi no

machi

半田市立博物館

はんだじりはくぶつかん

からくり人形の操作体験をはじめ、半田の歴史・祭礼・醸造などについて学べる博物館。実物の山車を常設展示しており、4か月毎の山車の入替時には組立・解体の様子も見られる。



ページ掲載情報を
さらに詳しくご紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶山車のまち半田



check!
毎春開催
「春の山車祭り」
(P12)

だし丸くん

半田市観光マスコットキャラクター。
「半田の魅力を伝えたいだし!」

廃瓶を使った
ワークショップ



ギャラリーイリマル

ガラス・陶器のギャラリーショップ。器やアクセサリー作品の販売のほか、酢や酒の廃瓶を再利用したガラス工芸ワークショップが体験できる。



半田市指定天然記念物

萬三の白モッコウバラ

毎年訪れる
ファンも多い!
まんさんの
しきもくうばら

小栗家家庭にある樹齢150年超の日本最古最大級の白モッコウバラ。晩春に開花し優雅な香りを放つ。歳月を経たソルがハート形であることから半田市の結婚記念証デザインに。



萬三の白モッコウバラ祭

開花時期には地域全体で開花を祝うイベントを開催。挿木した苗木販売のほか、萬三の白モッコウバラ花酵母で作ったお酒や、近隣菓子舗にて限定和菓子などが販売される。



国指定重要文化財 小栗家住宅

おぐりけじゅうたく

小栗家住宅は、江戸末期から昭和初期に建てられた商家小栗家の広大な屋敷群。建築文化財として評価される土間の梁、丸窓、茶室など、邸内は繊細で洗練された意匠がちりばめられ、隆盛を極めた尾州半田の豪商文化を色濃く残す貴重な歴史文化遺産。小栗家は、江戸時代に始まり「萬三商店」という屋号で酒造りや海運、みそ、醤油の醸造などさまざまな事業を営み現在に至る。個人住宅居のため一般公開はしていないが、建物の一部ではまちづくり拠点の「unga」が運営中。ぜひ立ち寄ってみて。



丸初製菓本舗

まるはつせいかほんぽ

明治26年創業。季節ごとの旬の果物を丁寧に包んだ「フルーツ大福」は、ジューシーな果肉と羽二重餅、餡のバランスが絶品。名物「ちんとろ最中」も人気を誇る。(P16)



unga

すべすうんが

小栗家住宅内にある半田の発酵と醸造文化の情報発信拠点。建物はかつての「萬三商店」事務所で、当時の趣あるカウンターが出迎えてくれる。観光案内や地域の醸造品販売のほか、発酵ガストロノミーソー、豪商文化のひとつであるお茶に特化したイベントなどを企画運営する。



発酵と醸造の歴史文化を 半田から世界へ発信

半田は醸造発祥の地であり、品質技術の高い醸造メーカーが多数集まる「発酵と醸造のまち」。現在、世界中から「UMAMI(旨味)」が注目されるなか、半田が誇る発酵と醸造文化を世界へ向けて発信するさまざまな取り組みを行っています。



魚太郎 蔵のまちカフェ

うおたろうくらのまちかふえ

鮮魚市場の魚太郎が営むカフェ。知多半島でその日に水揚げされた旬の魚介を使ったメニューが堪能できる。半田土産や発酵・醸造品が並ぶショップコーナーも。回転鮨 魚太郎 半田店(P14)隣接。

柔らかく炊き上げた南知多産「生炊きしゃらす」は、地元主婦にも人気の逸品。



ギャラリーイリマル

ガラス・陶器のギャラリーショップ。器やアクセサリー作品の販売のほか、酢や酒の廃瓶を再利用したガラス工芸ワークショップが体験できる。

伝統と歴史と新たな息吹

ei kamo!
Handa

亀崎エリア

祭りが暮らしの中心にある亀崎地区。
酒造りと海運で栄えたかつての港町に
続々と新たな魅力が生まれています！

kamezaki
亀崎

300年以上続く
伝統の祭礼

国指定重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産

亀崎 潮干祭

毎年5月3・4日に行われる亀崎 潮干祭は、5輛の山車を潮干の海浜に曳き下ろすとても珍しい祭り。豪華絢爛な山車が不安定な波打ち際を進むさまは圧巻で、毎年多くの観光客でにぎわう。亀崎地区の酒造りや海運で栄えた華やかな歴史を背景に300年以上前から続いている祭礼であり、江戸時代の風習が厳格に受け継がれている。

掛け声響く、海浜曳き下ろし
興奮と熱気が最高潮に！



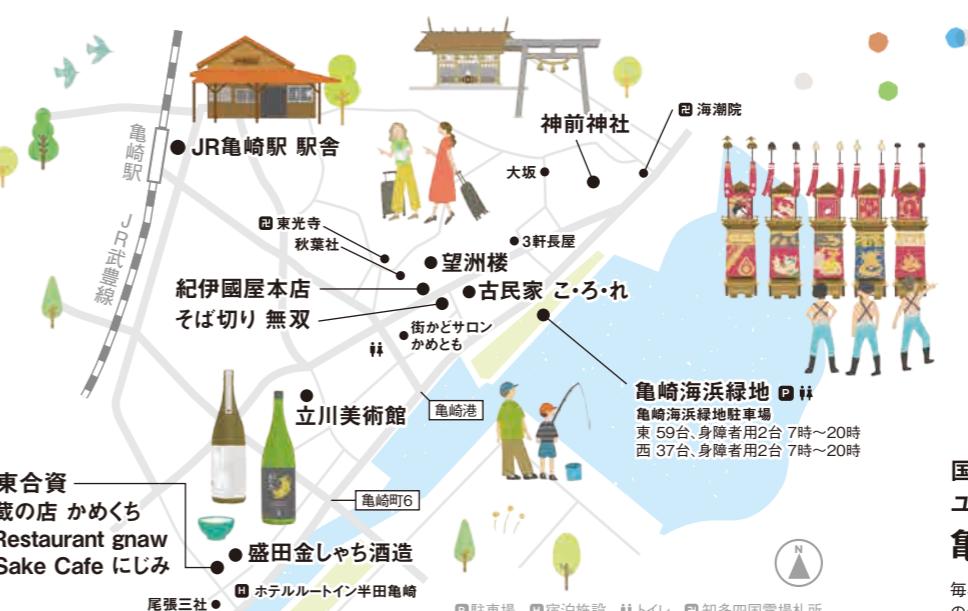
「せこみち」を通り抜け 懐かしくて新しいまち並み散策！

亀崎といえば多くの坂と「せこみち」と呼ばれる細く狭い路地が特徴。ほかにも、鬼門地蔵、山車サヤ、酒蔵など、ノスタルジックなまち並みが残ります。迷路のような「せこみち」を通り抜け、かつての港町を散策してみませんか。



神前神社

300年以上続く亀崎潮干祭が執り行われる神社。境内からは衣浦(きぬうら)港の眺望を楽しめる。子どもの神様としても名高く、神秘的な井戸のぞき祈願はじめお宮参りや七五三詣でも人気。



ページ掲載情報を
さらに詳しく紹介！
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶亀崎エリア



盛田金しゃち酒造

もたきんしゃちしゅぞう
漬干祭とともに歴史を歩んだ「天塩酒造」を事業承継し、2010年に設立した酒蔵。代表銘柄「金鯱(きんしゃち)」「初夢桜(はつゆめざくら)」のほか、南知多産フルーツの日本酒クラフトリキュールも人気。併設の直営所で購入できる。

発酵技術が生きる酒元鰻頭
亀崎銘菓の「かめまん」

紀伊國屋本店

きいくにやほんてん
江戸時代創業の老舗と菓子舗。添加物を一切使わず昔ながらの酒酵母発酵製法で手間ひまかけて作る亀崎饅頭は、通称「かめまん」として地域で永く愛されている銘菓。

絵柄がかわいい
ワンカップ「金鯱」。
3つ入りのお土産用セットも。

時間が経ち固くなったら、蒸す・焼く・揚げるなどアレンジして食べるのが地元流。



JR亀崎駅 駅舎

じさいあるかめざきえき えきしゃ
明治19年に開通したJR武豊線の亀崎駅は日本最古といわれる現役木造駅舎。温かみのある木造平屋建てで、当時の面影を残す素朴な魅力が多くの中鉄ファンに愛されている。



古民家 こ・ろ・れ

こみんか こ・ろ・れ
古民家をリノベーションした和モダンな店内で、知多牛ステーキをはじめ、厳選した地元食材を使った料理を楽しめる。建屋は望洲楼の成田家の本宅で半田市指定景観重要建造物。



望洲楼

ぼうしゅうろう
幕末の安政2年に創業し、福沢諭吉など名だたる文化人も訪れた歴史と格式のある料亭。高台の斜面に建てられた客室からは衣浦の海を一望でき、季節ごとの会席料理を堪能できる。建物群は築150年を超える半田市指定景観重要建造物。



伊東合資の敷地内にある、個性的な3つのお店をご紹介！



伊東合資

いとうこうし
江戸時代から200年以上亀崎の酒造りを牽引した蔵元。一度廃業したのち現在の9代目当主により復興を遂げ、清酒「敷嶋(しきしま)」のブランドイメージを一新した。酒造りのほか、ペアリングを楽しむお店やマルシェなどのイベントも開催する複合施設として、発酵と醸造に特化した亀崎の新たな観光スポット。(P15・16)



Restaurant gnaw

れすらん のー
土蔵を改装した「かじる」という意味の名を持つレストラン。知多半島の旬を体感できる料理とペアリングドリンクのランチが人気のカフェ。各種「敷嶋」の飲み比べのほか、銘茶やノンアルカクテルも選べる。ティータイムの「敷嶋」を使ったデザートも風味豊かで◎。



Sake Cafe にじみ

さけ かふみ にじみ
ペアリングドリンクのランチが人気のカフェ。各種「敷嶋」の飲み比べのほか、銘茶やノンアルカクテルも選べる。ティータイムの「敷嶋」を使ったデザートも風味豊かで◎。



山車の曳き下ろしに欠かせない砂浜！



平成5年、防波堤や国道建設により途絶えていた山車の「海浜曳き下ろし」復活を望む声が高まり、人工砂浜を造成した亀崎海滨緑地が完成。



立川美術館

たてかわびじゅつかん
伝統的な山車彫刻の流派である「立川流彫刻」を紹介する美術館。世界で唯一の山車乗車&VR祭り体験では、潮干祭で山車が見物人をかき分け狭い路地を進む様子を臨場感たっぷりに味わえる。分館の「間瀬家住宅」邸宅内ではカフェも楽しめる。



南吉の里 エリア

新美南吉の生まれ育ったふるさと岩滑(やなご)。

『ごんぎつね』の舞台「中山」の地から、物語のかげらを探す旅へ。

いきかも
Hama!
半田
nankichi no sato

「ごんぎつね」の
ワシンーンを再現!

300万本の彼岸花

岩滑地区の「矢勝川堤(やかちがわつつみ)」では、秋になると全長1.5kmにわたり約300万本の彼岸花が咲き誇る。開花時期には「ごんの秋まつり」を開催。真っ赤な絨毯を敷いたような幻想的な風景に毎年約10万人が訪れる秋の風物詩。



心に生き続ける物語を残した
童話作家、新美南吉。

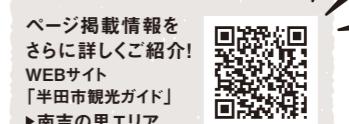
新美南吉は、半田市岩滑で生まれ育った児童文学作家。代表作『ごんぎつね』は、全国の国語教科書に採用されています。29歳でこの世を去るまでに、ふるさと半田を舞台に繊細な感性が溢れる情景描写と温かみのあるテーマの作品を多数執筆しました。



日本児童文学を
代表する作品!



ごん吉くん
新美南吉童話イメージキャラクター。帽子と手袋がトレードマークの南吉の弟子。



ページ掲載情報を
さらに詳しく紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶南吉の里エリア

新美南吉記念館

にいなんききねんかん

童話「ごんぎつね」に登場する「中山」の地に建つ、新美南吉を顕彰する記念文学館。建物を芝生で覆い自然や風景との調和を目指した半地下構造が特徴的。館内では、自筆原稿、日記、手紙などの資料とともに、南吉の生い立ちや作品のジョーダラマを展示する。隣接する童話の森には「権狐」草稿碑もあり、南吉文学に浸りながら森の遊歩道散策を楽しめます。



cafe & shop ごんの贈り物

かふあんどしょっぷ ごんのおりもの
記念館内にある南吉作品の書籍や絵本が並ぶブックカフェ。「ごんの贈り物ブレンド」などのカフェメニューをゆったり味わえる。ショップでは南吉童話グッズや半田土産のほか缶バッジのワークショップも人気。

カバンに忍ばせたいミニブックや南吉作品がモチーフの作家作品が揃う。



地域の想いから
生まれた景色



地域ボランティアが育む 南吉の里の彼岸花群生

『ごんぎつね』の一節「ひがん花が赤い布(きれ)のようにさきつづいていました」を再現しようと始めた地元住民による彼岸花植栽活動。30年近くかけ、今では全国有数の彼岸花群生地に。きれいに咲かせるため、地域ボランティアが一年を通して維持管理を続けています。

ごんの秋まつり

「ごんの秋まつり」では、花嫁行列やライトアップなど彼岸花を楽しむイベントを多数開催。9月下旬~10月上旬。



天然温泉 まるは ごんぎつねの湯

てんねんおんせん まるは ごんぎつねのゆ
天然温泉が楽しめる日帰り入浴施設。地下1500mから湧く59.2°Cという高温源泉を生かした滝つぼ湯や露天風呂が人気。まるは食堂名物の巨大エビフライも食べられる。

南吉の養家(新美家)

なんきちのようか(いみつけ)

南吉の生母りゑの実家。当時8歳で祖母志もの養子となるが、寂しさから数ヶ月で渡辺家に戻った。童話「小さい太郎の悲しみ」などに登場。/公益財団法人みや美術館 分館(見学要予約)

南吉の生家(渡辺家)

なんきちのせいか(わたなべけ)

南吉が生まれ育った家。多くの人が往来した旧街道沿いで、父は墨屋、継母は下駄屋を営んだ。家屋内で、解説アナウンスを聞きながら当時の雰囲気を味わえる。名鉄半田口駅より徒歩5分。



パティスリー ラ・ミモザ

ばていすりー らみもざ

小高い丘の上に建つ地域で評判の洋菓子店。店名のミモザが春に黄色い花を咲かせると、まるでファンタジーの世界。ショーケースにはパティシエこだわりの色とりどりの洋菓子が並ぶ。



南吉ゆかりの地を巡る おすすめのモデルルート

南吉の里エリアには、ででもし広場や岩滑八幡社など南吉ゆかりの地がたくさんあります。南吉が愛したふるさとを巡るモデルルートの詳細はWEBサイトへ!



ページ掲載情報を
さらに詳しくご紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶シーズナルカレンダー



★いいかも半田クイズ★ Q6 半田市の雁宿公園で飼育している動物は? A 牛 B 馬 C 辰 D 犬 E 猿 /こたえはP17へ

半田空の科学館

はんだそらのかがくかん
宇宙の神秘を子どもと一緒に遊びながら学べる体験型科学館。プラネタリウムでは、シーズンごとに変わるプログラムで満天の星空を投影。土日祝には星の見会も開催。



半田運動公園

はんだうんどうこうえん

ディキャンプ場

でいかんぷじょう

半田市の西部丘陵地にある緑に囲まれた大型公園。陸上競技場やテニスコート、多目的グラウンドなどスポーツ施設のほか、BBQエリアやディキャンプ場も、のんびりくつろげる芝生広場や大小さまざまな遊具があるちびっこ広場で、子どもと一緒に遊べる。



広々としたディキャンプ場にはBBQ設備が40卓。すぐそばに芝生のオーブンガレージで楽しむ知多半島BBQ(前日までの要予約)。精肉工房で追加也可能。レストランも併設。(P15)

farm restaurant 黒牛の里 グリルガーデンBBQ

ふあーむねすとらんくうじのさとぐりがーでんぱーきゅう
品質の高いオリジナルブランド豚「あいばーく」の食べ放題BBQ。人気のハム・ソーセージはお土産購入も可能。(P15)



市野園芸

いちのえんげい

大型バスPも完備の知多半島最大級の農園。レジャーシートを広げピクニック気分で楽しめる。トッピング持込可、直売所併設。



澤田農園

さわだのえん

品種はあきひめ。ベビーカーや車いすも利用しやすく多目的トイレスなどの設備が整う。バスP完備。直売の朝どれイチゴも。



BerryGardens

ベリーがーでん

半田中央ICすぐのいちご狩り&直売所。品種はあきひめ、紅ほっぺ、おいこベリーなど。練乳ほかトッピング食材の持込可。



石川屋

BBQ Cabin

いしかわや

ばーbecueーきゅあびん

ホルモン食べ放題が付く、肉専門店のBBQ。併設の店舗にて牛豚鶏をお好みで追加購入できる。希少部位があることも!



雁宿公園

かりやどこうえん

110年以上の歴史をもつ半田市の中心にある公園。展望台からは市中心街地や衣浦港を一望でき、春は桜の名所としてにぎわう。園内は南北に分かれ、ニホンザルなどの動物の飼育も行う。



ニホンザルがいる
お花見の名所



春の山車祭り

はるのだしまつり

古いところでは300年以上前から受け継がれてきた、伝統的な半田の山車祭り。10地区の神社にて毎春執り行われ、合計31輌の山車が曳き出される。神社でのからくり人形、三番叟、獅子舞、神子舞の奉納や山車の曳き方などに各地区の特色がある。



10地区の神社の祭礼として執り行われる春の山車祭り。



5月
3-4日 亀崎 かめざき
半田の春祭りを締めくくる「亀崎潮干祭」。山車5輌の海浜曳き下ろしやからくり人形の奉納、独特な鳩さばきを見る人を魅了する。

4月
中・下旬 下半田 しもはんた
醸造業で繁栄した半田運河周辺で行われる祭礼。豪華な山車4輌のほかにからくり人形の妙技、巧みな鳩さばきなど見どころが多い。

4月
初・中旬 板山いたやま
板山神社に3輌、八幡神社に1輌の山車が曳き出される板山地区の祭礼。境内にて前棚人形と上山人形が上演される。大規模な奉納投げ餅は多くの人で賑わう。

4月
初・中旬 西成岩にしならわ
山車4輌の成岩神社への打ち込みは見ごたえあり。境内での「大獅子小獅子の舞」「神子舞」「三番叟」「神子舞」が奉納される。

4月
初・中旬 成岩ならわ
山車2輌が曳き出される成岩神社の祭礼。境内にて前棚人形と上山人形が上演される。大規模な奉納投げ餅は多くの人で賑わう。





やがて、いのちに変わるもの。

mizkan
やがて、いのちに変わるもの。

ちたしんは人・地域・環境に
「やさしいまちづくり」を
応援しています。

知多信用金庫
<https://www.chitashin.co.jp>

地域のくらしの応援団
半田信用金庫
<https://www.hanshin-ca.co.jp>

Good Home Good Life
ナゴヤルカシニクセンター
半田会場

半田赤レンガ建物となり

半田本店 溶岩焼(焼肉)
半田市岩滑西町4丁目109-1
TEL 0569-23-8672

farm restaurant 黒牛の里
農家レストラン(BBQ場併設)
半田市岩滑西町2丁目48-127
TEL 0569-89-8629

CLACITY店 焼肉ホルモン
半田市広小路町155-3
TEL 0569-21-2911

ホルモン場 トンチャン
半田市岩滑西町2丁目48-127
(BBQ場内)
TEL 080-8054-4583

粉を究めて、新たな価値を。
TSUKASA
<https://www.tsukasa-ind.co.jp>

酒の文化館
ご見学は、電話でご予約ください。
☎ 0569-23-1499
●入館料無料・毎週木曜日休館
●JR知多半島線半田駅下車徒歩10分
●JR東海武豊線半田駅下車徒歩7分
<https://www.nakanoshouzou.jp/>

会員募集 かもめツアー
知多乗合株式会社 ☎(0569)24-3337
知多バス 検索

安全タクシー 知多四国巡礼、観光地巡りも
お車のご用命は **安全タクシー(株)**
☎ 0569-21-0685(代)

1F回転館 2F館会席
セリ椎を持つ魚屋の鮮度館
TEL 0569-89-7800

半田土産が揃うオススメおみやげショップ

CLACITY FOOD MARKET FOOD MARKET
くらしていふーどまーけっと
名鉄知多半島線直結のCLACITY1Fにある、
知多半島のおいしいものが集まるフードマーケット。半田土産にぴったりな商品も多数揃っているのでぜひ覗いてみて。
TEL0569-47-8680 広小路町155-3 クラシティ1F

半田赤レンガ建物 (P03) TEL0569-24-7031 檻下町8
unga(小栗家住宅内) (P06) TEL070-6436-3693 中村町1-40
魚太郎 蔵のまちカフェ (P06) TEL0569-89-7810 中村町1-33-2
蔵の店 カめくち(伊東合資内) (P09) TEL0569-29-1126 龍崎町9-111
cafe&shop ごんの贈り物(新美南吉記念館内) (P10) TEL0569-26-1885 岩滑西町1-10-1

20 手袋を買いに
キーホルダー
/cafe&shop ごんの贈り物

19 ストラップ
ぐり・きつね
(icura工房)
/cafe&shop ごんの贈り物

18 手ぬぐい
(ツメサキの世界)
/cafe&shop ごんの贈り物

SHOP LIST

松華堂菓子舗 TEL0569-21-0046 御幸町103
若松軒菓子舗 TEL0569-21-1060 銀座本町2-11
丸初製菓本舗 TEL0569-21-0391 本町7-20
八幡屋菓子舗 TEL0569-21-2288 川北側町2-44
御菓子司常川屋 半田店 TEL0569-25-1005 宮路町151-11
TEL0569-47-6897 有楽町8-27-1
カレット洋菓子店 半田店 TEL0569-22-7340 広小路町153-8
リヴェールニッズ坂 TEL0569-26-6161 北二ツ坂町2-15-13
シャンボール TEL0569-22-8643 岩滑中町3-194
MIZKAN MUSEUM TEL0569-24-5111 中村町2-6



半田銘菓と菓子舗

豪商文化で培われた 老舗菓子舗の高い技術

かつて、お茶を嗜む豪商の邸宅近隣には、菓子舗が軒を連ね職人たちが腕を磨きました。多くの菓子舗は現在も老舗と菓子店として高い技術を誇ります。受け継がれる上質なお菓子をぜひお土産に。

01 半田琥珀煉瓦
/松華堂菓子舗

02 ちんとろ最中
/丸初製菓本舗

03 玄米志る粉
/若松軒菓子舗

04 赤レンガ・石かがみ
/御菓子司 常川屋 半田店

05 蔵みちべ
/松華堂菓子舗

06 くるみゆべし
/八幡屋菓子舗

07 五仁月餅
/漂香茶館

08 伏茶(ふーちゃ)
/漂香茶館

09 岩滑サブレ
/シャンボール

10 酒蔵景氣
/リヴェールニッズ坂

11 ブッセ
/カレット洋菓子店 半田店

12 酒米アクセサリー
/蔵の店 カめくち(伊東合資内)

13 伊東合資の米塩
/蔵の店 カめくち(伊東合資内)

14 カブトビール
前掛け・ピンバッジ
/半田赤レンガ建物

15 半田の祭り絵柄
マスキングテープ
/半田赤レンガ建物

16 はちみつ(竹内養蜂)
/CLACITY FOOD MARKET

**17 酢eat(スイーツ)・
味ぽん®ぬいぐるみ
ストラップ**
/MIZKAN MUSEUM

**18 新美南吉童話
がテーマのきつね絵柄**
は半田市出身作家による作品。
19 知多半島
に工房を構える木工作家のストラップ。天然の木のやさしい手ざわり。
20 知多木綿製の南吉童話モチーフのキーホルダー。

レンガの形の
カラフルな琥珀糖

ちんとろ船の
形がかわいい

ひとつサイズの
きつねのサブレ

半田市民の
定番てみやげ

ミツカン
ミュージアムの
人気商品!

半田市全域MAP



半田赤レンガエリア P03
 半田運河エリア P04
 山車のまち半田 P07
 亀崎エリア P08
 南吉の里エリア P10

ページ掲載情報を
さらに詳しくご紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶半田市全域MAP



おすすめ半田観光モデルルート

半田赤レンガ建物&半田運河 ウォーキングコース

名鉄住吉町駅
▼300m 徒歩約4分
半田赤レンガ建物(P03)
▼1.2km 徒歩約17分
國盛 酒の文化館(P05)
▼400m 徒歩約1分
旧中埜半六邸・半六庭園(P05)
▼130m 徒歩約2分
小栗家住宅・unga(P06)
▼150m 徒歩約2分
半田運河(P04)
▼150m 徒歩約2分
MIZKAN MUSEUM(P04)
▼350m 徒歩約5分
JR半田駅
▼750m 徒歩約10分
名鉄知多半田駅

他にも、WEBサイト(P18右下QRコードより)にてテーマや季節ごとのおすすめ観光モデルルートを紹介中!



ACCESS
電車の場合
名鉄名古屋駅から名鉄河和線
河和方面へ急行で約30分
半田口駅(普通のみ)・住吉町駅・知多半田駅

JR名古屋駅から東海道本線大府駅で
乗換え、武豊線武豊行で約50分
亀崎駅・半田駅(各駅停車)

*名鉄知多半田駅とJR半田駅間は徒歩約10分

車の場合

名古屋から車で約40分
名古屋高速道路、伊勢湾岸道路を経由し知多半島道路へ、
半田中央ICより約15分
半田赤レンガ建物駐車場・蔵のまち東駐車場

①観光案内

半田赤レンガ建物 櫻下町8

_unga 中村町1-40

半田市観光協会 東洋町1-8 アイプラザ半田
お問い合わせ TEL 0569-32-3264(9:00~17:00)

P駐車場

半田赤レンガ建物駐車場 櫻下町8

北駐車場 323台(共用199台)、南駐車場 38台、バス 4台
営業時間のみ利用可

蔵のまち東駐車場 東洋町1-9
247台(バス2台※要予約) 日出~午後10時まで

半田市役所駐車場 東洋町2-1
600台

亀崎海浜緑地駐車場 神前町
東 59台、身障者用2台 7時~20時
西 37台、身障者用2台 7時~20時

新美南吉記念館駐車場 岩滑西町1-10-1
57台、身障者用2台、バス専用3台 営業時間のみ利用可

○交通

半田市公共交通バス

半田市内には、ごんくるバス、ごん吉
ぐんバス、知多バスなど、計8つの市内
バス路線があります。時刻表や路線
図など、詳しい情報は半田市HPをご
確認ください。



半田市HP
半田市公共交通バス

名鉄知多タクシー

TEL 0569-37-1112

安全タクシー

TEL 0569-21-0685

サンレータクシー

TEL 0569-37-1122

知多バス

TEL 0569-21-5234

H宿泊施設

カンデオホテルズ半田

天王町1-50-8 TEL 0569-25-0331

センターワンホテル半田

更生町1-124-2 TEL 0569-21-6555

名鉄イン知多半田駅前

更生町1-120-2 TEL 0569-23-3434

ビジネスホテル寿屋

雁宿町1-37 TEL 0569-21-1843

アズイン半田インター

宮本町6-216-1 TEL 0569-21-3388

半田ステーションホテル

宮路町511 TEL 0569-23-3222

サンポートホテル半田

瑞穂町9-3-1 TEL 0569-23-7777

サウナ&ホテルみどり館

瑞穂町6-7-12 TEL 0569-23-6699

ホテルルートイン半田亀崎

亀崎町9-141-2 TEL 0569-20-1022

ファーストホテル半田亀崎店

亀崎北浦町2-31 TEL 0569-29-4848

